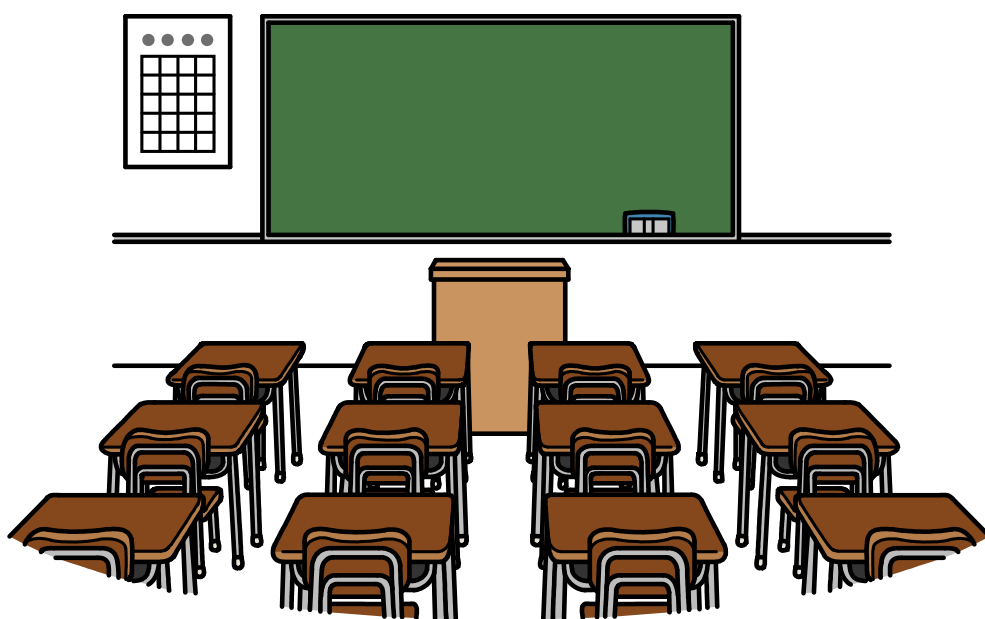


校内資源を活用した 校内支援実践事例集



岩手県立総合教育センター

教育支援相談担当

「校内資源を活用した校内支援実践事例集」について

～はじめにお読みください～

本事例集は、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実を図るために、校内の特別支援教育の専門性をもった教職員、相談員、支援員等の人材、分掌や委員会、チーム等を有効に活用した実践事例を紹介するものです。

また、実践事例に加えて、校内支援体制の基本的なモデルや、校内支援体制による取組を支援するための各種シートやガイド等も掲載しました。

小・中学校等における校内支援推進のためにご活用いただければ幸いです。

「校内資源を活用した校内支援実践事例集」の構成

第1章 校内資源を活用した実践事例

研究協力校5校（小学校3校、中学校2校）における校内資源を活用した校内支援体制による取組事例を具体的に掲載しています。

第2章 学校レポート ～全県調査による特徴的な取組から～

特徴的な取組を進めている小学校1校及び中学校1校の様子について掲載しています。

第3章 校内資源を活用した校内支援体制の基本的モデル

校内資源を活用した校内支援体制として考えられるモデルとして、6つのモデルを掲げ、かかわりのある校内資源や取組内容、年間推進計画モデル等を掲載しています。

別冊資料 活用ツール&資料集

校内支援体制による取組を進めていく上で活用できる、シート様式や2つの手引き資料を掲載しています。

- ・活用ツール
- ・資料「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた校内授業研究ガイド」
- ・資料「よりより保護者連携のために」

この実践事例集は、岩手県立総合教育センターWeb ページ <http://www.1.iwate-ed.jp/> の教育支援相談担当のページからダウンロードすることができます。

本実践事例集の表番号、図番号については、実践事例、レポートごとに番号表示になっています。

校内資源を活用した「校内支援体制の基本的モデル」について

本事例集では、「校内支援体制の基本的モデル」により取り組まれた実践が紹介されています。この基本的モデルは、「通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実に関する研究－校内資源を活用した校内支援体制の確立を目指して－」（平成 26-27 年度岩手県立総合教育センター研究）において、まとめたものです。

基本的モデルは、校内資源を活用した校内支援体制について、「個に対する支援」（支援を必要とする児童生徒に対する支援）の視点、「全体に対する支援」（支援を必要とする児童生徒を含めた学級全体に対する支援）の視点の二視点から、6つのモデル（【図1】参照）として立案しました。

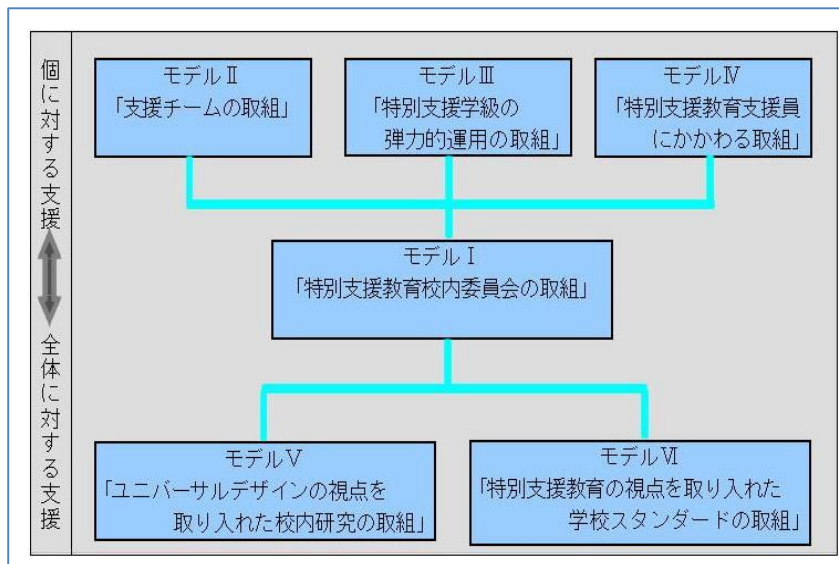
また、モデルの内容として、各学校が支援を検討していく上での手がかりとなるように、校内資源から想定される具体的役割や、年間推進計画例などにより、構成しました。

これらの基本的モデルは、それぞれの取組を学校ニーズに応じて、組み合わせることにより、より効果を上げられるものと考えます。

「第1章 校内資源を活用した実践事例」は、研究協力校における基本的モデルに関連付いた取組を紹介しています。各校では、学校ニーズに応じて、各モデルをカスタマイズした校内支援体制による取組を推進し、大きな成果を上げてきました。

「第2章 学校レポート」では、本研究の一環として行った全県調査結果から、優れた取組を進めている2校の実践を紹介しています。

第3章では、【表1】の構成内容により、各基本的モデルを掲載しています。



【図1】二視点からの校内支援体制の基本的モデル

【表1】基本的モデルの構成内容

モデル	概要	構成内容
モデル I 「特別支援教育校内委員会の取組」	特別な支援を必要とする児童生徒を早期に把握し、具体的な支援の在り方や専門機関との連携を検討するための校内委員会の取組について、解説する。	・校内委員会に期待される機能及び効果 ・校内委員会の具体的取組内容 等
モデル II 「支援チームの取組」	日常的な学習面や生活面の支援、問題行動への対応を進めていく上での、機動性の高い支援チームの取組について、解説する。	・支援チームの具体的活動 ・支援チームによる支援計画の作成手順 等
モデル III 「特別支援学級の弾力的な運用の取組」	一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援のために、特別支援教育の専門性を生かした特別支援学級の弾力的な運用について、解説する。	・弾力的な運用の具体例 ・弾力的な運用における各人材の役割 等
モデル IV 「特別支援教育支援員にかかわる取組」	日常生活上の介助や学習支援を含めた役割や、担任との連携との工夫等、特別支援教育支援員の効果的な活用や取組について、解説する。	・特別支援教育支援員の役割の具体例 ・支援員の研修例 等
モデル V 「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業研究の取組」	「全ての児童生徒が分かる、できる」を目指すユニバーサルデザインの視点からの授業づくりを校内的に推進していくための授業研究の取組について、解説する。	・校内研究の取組内容 ・ユニバーサルデザインの具体的視点 等
モデル VI 「特別支援教育の視点を取り入れた学校スタンダードの取組」	安心安全な学校を築く学校全体の規範を特別支援教育の視点から作成、推進していくための学校スタンダードの取組について、解説する。	・学校スタンダードの必要性 ・学校スタンダードの具体的取組内容 等

《目 次》

第1章 校内資源を活用した実践事例	1
実践事例Ⅰ 盛岡市立都南東小学校における取組	2
実践事例Ⅱ 滝沢市立滝沢第二小学校における取組	20
実践事例Ⅲ 平泉町立長島小学校における取組	36
実践事例Ⅳ 花巻市立花巻中学校における取組	46
実践事例Ⅴ 宮古市立花輪中学校における取組	59
第2章 学校レポート	73
学校レポート1	
一関市立山目小学校 ～一人一人のニーズに応じた校内体制づくり～	74
学校レポート2	
盛岡市立厨川中学校 ～北梅プラン 寄り添う教育の実現を旨として～	80
第3章 校内資源を活用した校内支援体制の基本的モデル	91
モデルⅠ 特別支援教育校内委員会の取組	92
モデルⅡ 支援チームの取組	96
モデルⅢ 特別支援学級の弾力的運用の取組	99
モデルⅣ 特別支援教育支援員にかかわる取組	102
モデルⅤ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた校内研究の取組	106
モデルⅥ 特別支援教育の視点を取り入れた学校スタンダードの取組	111
別冊資料 活用ツール&資料集	